



ブナセンターだより 10月号

発行：ブナセンター No.316 2019, 10, 1

今月のごあんない

森林ウォーキング⑤

黒松内の様々な環境の森を散策して、歩く前と後に血圧などを測定し、森の効果を調査するプロジェクトの今期最終回です。今回はキノコを探しながら森を歩きます。

【日 程】10月13日(土)



時間、場所など
詳しくはチラシで
お知らせします

森の恵みで
健康づくり

主催：森林療法実践プロジェクト(事務局ブナセンター)

わくわく土曜日ランド

今回は
日曜日です！

「トワ・ヴェールのソーセージをつくろう」

町の特産物手作り加工センター「トワ・ヴェール」の協力をいただき、ソーセージ作りに挑戦します。黒松内でとれるハーブ(野草)やナッツ(木の実)を入れた特別なソーセージを作る予定です。完成品は文化祭でお披露目できたらいいな？！



【日 程】10月27日(日)

【時 間】10:00~15:00

【集 合】ブナセンター(9:55)または町民センター(9:45)

【定 員】15名(町内小学生対象)

【参加費】300円

【持ち物】昼食、水筒、エプロン、三角巾

【申込み】前日17:00までにブナセンターへ

◎詳しくは学校配布のチラシにて

森へ行こう「秋の白井川ブナ林」

北海道遺産「北限のブナ林」のひとつである「白井川ブナ林」(道有林)は、普段は林道が施錠され、一般の方は入林できません。ブナが黄葉して、他の木々との区別が付きやすいこの時期に、特別に企画する観察会です。「ブナ北限のライン」を見てみましょう！

【日 程】10月26日(土)

【時 間】10:00~15:00

【場 所】白井川ブナ林



【集合場所】町民センター(10:00)または

道の駅駐車場(10:15)

【定 員】13名

【対 象】小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)
※白井川ブナ林はやや急峻な山道です

【参加費】300円 ※「ブナさぼ」のメンバーは無料

【持ち物】野外で活動できる服装、昼食、飲物、数物
雨具、着替え

【申込み】前日17:00までにブナセンターへ

【雨天の場合】小雨決行 ◎詳しくはチラシにて

工房からのお知らせ

陶芸教室

毎週木曜日

昼の部 13:30~15:30
夜の部 18:30~20:30

木工教室

毎週木曜日 18:30~20:30

下澤陽子先生(札幌市 北海ありそ焼・愉楽窯)の教室

10月14日(月)&22日(火)<祝日> 13:30~15:30

今年度、下澤先生の教室は祝日に開催します。詳しくはチラシにて。

※下澤先生がいらっしゃらない日、および夜の部の教室は、
ブナセンタースタッフが指導しています。

西馬昇一郎先生(ニセコ町WEST HORSE)の教室

10月10日&24日 18:30~20:30

※自分が作りたいものを、設計図の描き方から
道具の使い方まで、指導していただきます。
見学も歓迎です！

写真展 黒松内の鳥と動物たち

ブナセンターだより8月号で、黒松内の鳥や動物の写真
を募集したところ、60種の鳥と、10種の動物の写真が
集まりました。私たちが住む町にこんなにたくさんの種類
の鳥がいることや、いるとはわかっていてもなかなか見る
ことはない動物たちの姿を再認識できます。

右の日程で写真展を開催いたしますので、ご家族、お友
達をお誘い合わせのうえ、ぜひ見にいらしてください。

期 間:10月5日(土)~10月31日(木)

※(月)(火)は休館日・祝日は開館します

場 所:ブナホール(ブナセンター1階)

※入場無料

※町内で送迎が必要な方は希望日の2日前
までにご相談ください

写真展
「黒松内の鳥と動物たち」
関連特集

似ている鳥の見分け方 ～どこがちがうかな？～

みなさんの身近にいる鳥、見慣れている鳥、たとえば、カラスやスズメ。実は、よく見ると2種類いたり、似た名前だけど棲む場所が違う仲間がいたり…。そんなよく似た鳥、同じような名前の鳥を比べてみましょう。(これらの鳥たちは写真展『黒松内の鳥と動物たち』の中でも展示しています)

カラスも2種類います

普段見かけるカラスには、ハシブト、ハシボソの2種類います。「ハシ」は「くちばし」のこと。くちばしの太さ以外にもいくつか違いがあります。普段見ているカラスはどちらでしょう？

ハシブトガラス

でこっぱち

太い

鳴き声は
カーカーと
澄んだ声

ハシボソガラス

おでこから
くちばしは平ら

細い

鳴き声はガーガーと濁った声

おじぎをする
ように頭を
上下に振り
ながら鳴く

街のスズメと森のスズメ

スズメは誰もが知っている身近な野鳥ですが、じつは森に棲む別のスズメもいます。

スズメ

人家付近に生息する
頬の大きな黒斑が特徴
オス・メス同色



黒い
模様

ニューナイスズメ

森林に棲むスズメの仲間
スズメとの一番の違いは頬の黒斑がないこと
(ニューナイスの名は「ニオ(斑)無い」からとの説も)

鳴き声もチュン
チュンと
スズメそっくり



頬に
黒い
模様は
ない

↑メスは上面が灰褐色 ↑オスは明るい栗色

黄色いのもいます

黒松内の市街地でスズメより多いのでは？と言われるのがハクセキレイです。長い尾を上下に振る様子から『石叩き』と呼ぶ方も。白黒のツートンカラーが目立つ身近な鳥です。もともと河川の下流域に生息する鳥でしたが、今では住宅地など開けた環境に広く生息しています。同じセキレイの仲間で、おなかや黄色いものもいますが、こちらは棲む場所が違います。

ハクセキレイ



市街地や農地など
広く見られる

キセキレイ



川の上流部や
溪流など、水辺で見られる

白

黄色

©イラスト:「鳥630図鑑」(日本鳥類保護連盟)

「フィールドガイド日本の野鳥」(日本野鳥の会)

「北海道野鳥ハンディガイド」(北海道新聞社)

※HPのインターネット版「ブナセンターだより」ではカラーでご覧になれます

ヤカマシイ(?)のとカワイイの

秋になると、市街地の電線などにたくさん群れて「キュルキュル」「ギャーギャー」とやかましく鳴いているのがムクドリです。このムクドリの小型がコムクドリですが、ただ小さいだけではありません。

ムクドリ



オレンジ色の
くちばしと足が特徴
オス・メス同色

コムクドリ

小型のムクドリで明るい林に棲みます。オス・メスの色は違い、特にオスの色合いがかわいい
鳴き声はムクドリほど
騒々しくない



メスは
灰褐色

オスの頭や腹は
淡いクリーム色、
ほっぺは赤茶色

DVD「えがこう！未来のくろまつない」

制作：歌オブナ林天然記念物指定90周年事業実行委員会

ブナセンターで貸し出しています(貸し出し期間：2週間)

【10月の休館日】

1日 / 7・8日 / 15日 / 21日 / 28・29日
(ブナセンターは通常毎週月曜日と火曜日が休館日です)

祝日は開館します

昨年度、歌オブナ林天然記念物指定90周年を記念して制作した映像がDVDになりました。30年前、ブナ里構想が始まったときの物語、現在ブナ里を盛り上げるために働く人々へのインタビュー、そして、黒松内の未来を描いた子どもたちの絵が動き出す3部構成。必見の60分です。

●「ブナセンターだより」はブナセンターHPからPDFファイルをダウンロードできます。

●「ブナセンターだより」郵送ご希望のかたは、郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、希望回数分の84円切手を同封してブナセンターまでお送りください。

発行所：黒松内町ブナセンター

〒048-0101 寿都郡黒松内町字黒松内 512-1 TEL (0136)72-4411 FAX (0136)72-4440

メール bunacent@host.or.jp HP <http://www.host.or.jp/user/bunacent/> fb <https://facebook.com/bunacent.kuromatsunai/>